



NO.1022

2015・6・7

発行所

日本共産党
網走市委員会
網走市北八西三
五四三・四四五八
F 四三・四四五七

戦争立法ノー！ストップ！安倍政権

いま、国会では「戦争法案」が審議されていますが、4月に安倍首相がアメリカ連邦議会で「この夏までに、成就」させると約束した法案です。日本の平和と安全にかかわる法案を、日本国民より先にアメリカに約束するとはどういうことでしょうか。日本共産党網走市委員会は、5月23日に続き30日に党員・後援会員をはじめ北見生活と健康を守る会網走班、全日本年金者組合、個人も参加して市内スーパー前2ヶ所で宣伝しました。「守りぬこう憲法9条」「いつでも どこでも どんな戦争でも海外で武力行使可能に」「ストップ戦争立法」と書いたポスターを掲げて、

6月の宣伝行動

日本共産党網走市委員会は、6月13日、20日、27日(土)の午前11時からベレーシック駒場店前、11時40分からベレーシック橋北店前で宣伝行動をします。

「戦争法案反対の1点で共同しましよ」と、多くの市民のみなさんに参加を呼びかけています。



南後援会が焼肉と花見!

南後援会が恒例の焼肉と花見を5月31日に行いました。この日は、朝から雨模様で実施が危ぶまれていましたが、スタッフがテントを張って雨天決行しました。また、市議選をいっしょに戦ったつくし後援会も参加して、松浦地域後援会としての花見となりました。はじめに杉山後援会長からあいさつがあり、松浦市議からも選挙のお礼と来年の参議院選挙でのご支援のお願いがありました。雨が降る中ででしたが気温も温かく、楽しいひと時を過ごしました。来年の参議院選挙の勝利を誓い合いました。



菊地ひろし まっしぐら!

ようやく雨が降り、暖かくなってきました。植えた豆の芽が急に出てきた」と町内
会が集まりでも話題になるほど、雨が欲しかったのは皆さん共通しているようでした。
我が家の畑の世話役の妻からも「〇〇の芽が出てきた」と毎日楽しそうに報告があります。

街中の木や花たちも生き生きとしています。今が盛りと咲いている『フジ』の花、私はまったく木や花のことがわかりませんが、棚を造っている『フジ』も素敵ですが、先週赤旗集金の時に見た、どっしりと自然に伸びた『フジ』の立派な姿に思わず足を止めてしまいました。

出歩くことが多く、父が残した松の木の手入れもせずにいましたが、今ごろ新芽を摘み取りました。まわりに広がる松の香りにふと心が休まりました。植物の手入れにも心のこもったやり方があるように、子供たちを育てるにも、大人たちが偽りのない平和な環境をつくる必要があります。「戦争法案」は子供たちはもちろん、大人にも必要ありません!

松浦奮戦モ!

5月の後半は、赤旗代や民商の会費を集金に歩きました。国会の話になる

と「戦争法案」の問題では多くのみなさんが不安を感じています。特に、身内に自衛隊員がいる人は、「どうして憲法9条があるのに、こんな法案が出てくるのか理解できない」とか「自衛隊に入るとき、海外で戦争に参加することなど想定していない」など、たくさんの声を聞きました。憲法9条1項、日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては永久にこれを放棄する。2項、前項の目的を達するため、陸海空その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。この憲法9条に完全に違反しているのが戦争法案です。必ず廃案にしましょう。

氷流

いつせいで地方選挙も終わりました。多くの問題点を残しながら。学識経験者は地方選は次のような役割を持つと語りま

す。①地方自治体の主要な役割である住民の生命や生活を守る。②国が悪政を続ける時は住民を守る役割を果たす。③地方自治体による革新的な方向に牽引する力となる。まさに理想の様ですが、かつて1960年、1970年代に東京、大阪、京都などで実現した革新自治体が素晴らしい成果を挙げ、また沖縄地方選の成果が米軍基地反対運動の大きな力になっている等々、私たちは幾つかの成果を体験しています。しかし、今回の地方選は問題山積で、中でも「投票率が過去を通じて最低」である。さらに「首長選では無投票当選が圧倒的に多い」等々も地方選など見放したのかのような状況です。理由は多々あると思うが、不況下で地方選などにかまっていられないとか。供託金が重荷である等々。供託金を見ても市長選100万円、市議選30万円、これが政令都市になると市長選240万円、市議選50万円になり、一定数の得票がなければ全額没収です。これでは地方選出馬の意欲を持つ人も二の足を踏むのではな

いか。しかし地方自治体の現状は満足できるものは少なく、無駄と思える公共事業への投資、上がり続けてきた国保料、医療給付の削減、公立保育所の廃止、小中学校の統廃合など、住民の負担と不安は増える一方です。地方選を機会に議会が地域住民の福祉とゆるぎない平和を守る砦となれるように、市民の力を高めていこうではありませんか。(K)